

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 日本パーカライジング株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4095 URL <https://www.parker.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 青山 雅之  
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員コーポレート本部長（氏名） 相島 敏行（TEL）03-3278-4333  
 半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月10日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	62,733	7.2	7,137	3.3	8,907	△3.5	5,894	1.1
2024年3月期中間期	58,512	4.7	6,906	16.9	9,226	10.6	5,829	11.8

（注）包括利益 2025年3月期中間期 10,986百万円（△24.7%） 2024年3月期中間期 14,595百万円（11.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	50.17	—
2024年3月期中間期	50.56	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	265,566	225,074	74.2	1,660.79
2024年3月期	269,819	219,885	69.4	1,623.03

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 197,170百万円 2024年3月期 187,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2025年3月期	—	25.00			
2025年3月期（予想）			—	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	5.5	16,500	8.1	20,500	2.8	13,000	△1.5	114.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2024年8月9日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しました。2025年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の影響を考慮しています。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	132,604,524株	2024年3月期	132,604,524株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	13,883,399株	2024年3月期	17,297,356株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	117,487,195株	2024年3月期中間期	115,307,415株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	7
中間連結損益計算書 .....	7
中間連結包括利益計算書 .....	8
(3) 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報) .....	10
3. 補足情報 .....	12
(1) 四半期毎の業績の推移 (連結) .....	12
(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 .....	13

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当中間期の経営成績等の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費など一部に足踏みがみられたものの、設備投資や企業生産が持ち直しの動きとなり、緩やかな回復傾向となりましたが、原材料・エネルギー価格の高止まりや急激な為替変動の影響等により、先行きは不透明な状況が続いております。また、世界経済におきましても、米国で個人消費が底堅く推移するなど回復基調となりましたが、回復ペースは鈍化しつつあり、中国経済の減速による景気後退リスク等もあり、依然として先行きは不透明となっております。

当社グループの主要な供給先であります自動車業界では、半導体等の部品供給不足は概ね解消され、米国、メキシコ、インドなどでは生産台数が前年を上回りましたが、販売が伸び悩んでいる国内、タイ、韓国、インドネシアなどでは前年割れで推移しました。もう一つの柱であります鉄鋼業界においては、国内では建築向け需要がやや低調となり、粗鋼生産量は前年を下回りましたが、世界ではインドや中国が増加し概ね横ばい推移となりました。

このような状況のなか、当社グループでは、今期が最終年度となる第4次中期経営計画の下、全事業セグメントにおいて、既存事業の深耕、新規分野の開拓、グローバル事業の拡大に加えて、環境問題などの社会課題解決に積極的に取り組むなど、長期的な視点で企業価値の向上に取り組んでおります。また、お客様から信頼をいただける製品・サービスを提供するために、グループ全体の品質管理と品質保証の強化にも努めております。

この結果、当中間期の連結業績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
当中間会計期間 (2025年3月期)	62,733	7,137	8,907	5,894
前中間会計期間 (2024年3月期)	58,512	6,906	9,226	5,829
増減金額	4,221	230	△319	64
増減率	7.2%	3.3%	△3.5%	1.1%

**売上高**は62億733百万円（前年同期比7.2%増）となりました。なお、売上高は四半期開示が始まった2004年3月期から、過去最も高い水準となりました。事業の種類別セグメント毎の売上高は、前年同期に比べ薬品事業が2.8%の増収、装置事業が49.0%の増収、加工事業が1.8%の増収、その他が11.5%の減収となりました。また、地域別セグメントは、国内が8.8%の増収、アジアが1.4%の増収、欧米が19.4%の増収となりました。

**営業利益**は71億37百万円（前年同期比3.3%増）、**経常利益**は89億7百万円（前年同期比3.5%減）、**親会社株主に帰属する中間純利益**は58億94百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

## 【為替の影響額】

海外業績の換算による損益計算書に与える影響額は、売上高で22億16百万円程度の増収、営業利益で2億17百万円程度の増益となっております。

## 【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

報告セグメント	外部顧客に対する売上高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益)			
	前中間会計	当中間会計	増減額	増減率	前中間会計	当中間会計	増減額	増減率
薬品事業	27,532	<b>28,313</b>	780	2.8%	4,586	<b>5,087</b>	501	10.9%
装置事業	6,492	<b>9,673</b>	3,180	49.0%	△43	<b>189</b>	232	539.6%
加工事業	23,055	<b>23,480</b>	424	1.8%	2,936	<b>2,312</b>	△624	△21.3%
その他	1,431	<b>1,267</b>	△163	△11.5%	21	<b>23</b>	2	11.4%
調整額 (消去)	—	—	—	—	△594	<b>△475</b>	118	20.0%
連結損益計算書計上額	58,512	<b>62,733</b>	4,221	7.2%	6,906	<b>7,137</b>	230	3.3%

## ①薬品事業

売上高は283億13百万円（前年同期比2.8%増）となり、**営業利益**は50億87百万円（前年同期比10.9%増）となりました。当事業部門は、あらゆる産業分野における素材の洗浄、防錆、塗装下地、潤滑、意匠などを目的として表面処理剤の製造・販売と、これにともなう最新のノウハウ、技術サポートを提供しております。国内では鉄鋼分野を中心に、販売数量が前年同期をやや上回り、緩やかな回復基調で推移しました。また、国内外での高付加価値製品の販売増加やインドでの販売拡大も寄与したほか、為替レートが円安に進んだこと等から、薬品事業全体では売上高は増収となりました。利益面では、原材料価格は高値圏での推移が継続しておりますが、売上高の増加により営業利益は増益となりました。

## ②装置事業

売上高は96億73百万円（前年同期比49.0%増）となり、**営業利益**は1億89百万円（前年同期は43百万円の営業損失）となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備、塗装設備及び粉体塗装設備などを製造・販売しております。中国では大型案件の減少等の影響もあり販売が伸び悩みましたが、インドでの販売拡大のほか、国内では前処理設備のほか熱交換器の販売増加もあり、装置事業全体では売上高は増収となり、利益面では営業損失から営業利益へと転換しました。

## ③加工事業

売上高は234億80百万円（前年同期比1.8%増）となり、**営業利益**は23億12百万円（前年同期比21.3%減）となりました。当事業部門は、潤滑性・高密着性などの機能性を付与する「防錆加工」、金属の強度や耐久性を高める「熱処理加工」、素材表面に薄膜金属を被膜することで高耐食性、耐摩耗性などを付与できる「めっき処理」などの表面処理の加工サービスを提供しております。北米地域では、主要取引先である自動車部品メーカーの生産回復に伴い販売が回復したほか、為替レートが円安に進んだこと等から、加工事業全体では売上高は増収となりました。一方で、自動車生産台数が前年より減少した国内、タイ、インドネシアや、日系自動車メーカーの販売が伸び悩んだ中国では販売が減少したほか、国内外ともに原材料費・光熱費の高止まり等により収益性が低下し、営業利益は減益となりました。

## ④その他

売上高は12億67百万円（前年同期比11.5%減）となり、**営業利益**は23百万円（前年同期比11.4%増）となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業を営んでいるほか、新規事業として医療機器事業にも取り組んでおります。主にビルメンテナンス事業において販売が伸び悩み、売上高は減収となりましたが、販管費の減少等により利益面では増益となりました。

## 【投資情報】

(単位：百万円)

	前中間会計期間	当中間会計期間
減価償却費	3,020	<b>3,338</b>
設備投資額	3,211	<b>3,325</b>
研究開発費	975	<b>1,021</b>
有利子負債	1,054	<b>1,010</b>

(2) 当中間期の財政状態の概況

**資産合計**は、前連結会計年度末と比較し42億53百万円減少し2,655億66百万円となりました。流動資産は49億3百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が32億80百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が28億89百万円それぞれ減少した一方で、棚卸資産が3億6百万円増加したことによるものです。固定資産は6億49百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産が17億4百万円増加、投資その他の資産が12億91百万円減少したことによるものです。

**負債合計**は、前連結会計年度末と比較し94億41百万円減少し404億91百万円となりました。流動負債は84億51百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が41億43百万円、未払法人税等が14億72百万円、未払金が14億20百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は9億90百万円減少いたしました。主な要因は、繰延税金負債が10億22百万円減少したことによるものです。

**純資産合計**は、前連結会計年度末と比較し51億88百万円増加し2,250億74百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定が51億36百万円増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は74.2%と前連結会計年度末と比較し4.8ポイント増加するとともに、1株当たり純資産は1,660円79銭と37円76銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期の連結業績予想から変更はありません。なお、業績予想の変更が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間末 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	90,181	86,901
受取手形、売掛金及び契約資産	43,105	40,216
有価証券	440	786
商品及び製品	4,049	4,078
仕掛品	137	115
原材料及び貯蔵品	6,868	7,167
その他	3,613	4,132
貸倒引当金	△1,884	△1,790
流動資産合計	146,511	141,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	25,251	25,588
機械装置及び運搬具 (純額)	15,585	15,636
土地	17,802	18,192
建設仮勘定	5,473	6,244
その他 (純額)	2,070	2,224
有形固定資産合計	66,182	67,886
無形固定資産	2,397	2,633
投資その他の資産		
投資有価証券	35,380	32,496
退職給付に係る資産	5,076	5,276
繰延税金資産	1,725	1,844
その他	12,634	13,906
貸倒引当金	△89	△88
投資その他の資産合計	54,727	53,436
固定資産合計	123,307	123,957
資産合計	269,819	265,566

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間末 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,580	15,437
短期借入金	200	200
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	3,285	1,812
賞与引当金	2,474	2,371
役員賞与引当金	70	42
その他の引当金	592	558
その他	12,006	9,336
流動負債合計	38,710	30,259
固定負債		
退職給付に係る負債	3,265	3,357
役員退職慰労引当金	255	230
繰延税金負債	6,463	5,440
その他	1,237	1,203
固定負債合計	11,223	10,232
負債合計	49,933	40,491
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	4,530	5,502
利益剰余金	163,601	167,184
自己株式	△13,643	△10,945
株主資本合計	159,048	166,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,887	10,782
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	10,346	15,482
退職給付に係る調整累計額	4,863	4,603
その他の包括利益累計額合計	28,098	30,868
非支配株主持分	32,738	27,903
純資産合計	219,885	225,074
負債純資産合計	269,819	265,566



## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	58,512	62,733
売上原価	38,381	41,702
売上総利益	20,130	21,030
販売費及び一般管理費	13,223	13,893
営業利益	6,906	7,137
営業外収益		
受取利息	211	401
受取配当金	357	415
受取賃貸料	383	377
持分法による投資利益	377	441
為替差益	741	87
その他	568	528
営業外収益合計	2,639	2,250
営業外費用		
支払利息	4	14
賃貸費用	166	166
その他	148	299
営業外費用合計	319	480
経常利益	9,226	8,907
特別利益		
固定資産売却益	37	37
ゴルフ会員権売却益	—	50
その他	0	—
特別利益合計	37	88
特別損失		
固定資産除売却損	155	21
環境対策費	58	—
その他	—	1
特別損失合計	213	23
税金等調整前中間純利益	9,050	8,972
法人税等	2,180	2,152
中間純利益	6,869	6,819
非支配株主に帰属する中間純利益	1,039	924
親会社株主に帰属する中間純利益	5,829	5,894

## 中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	6,869	6,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,085	△2,145
為替換算調整勘定	5,244	5,771
退職給付に係る調整額	△53	△260
持分法適用会社に対する持分相当額	449	801
その他の包括利益合計	7,725	4,166
中間包括利益	14,595	10,986
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	11,813	8,667
非支配株主に係る中間包括利益	2,782	2,318

(3) 中間連結財務諸表及び主な注記

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年中間期の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報)

## I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	27,532	6,492	23,055	57,081	1,431	58,512	—	58,512
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	607	208	28	844	5	849	△849	—
計	28,140	6,700	23,084	57,926	1,436	59,362	△849	58,512
セグメント利益又は 損失(△)	4,586	△43	2,936	7,480	21	7,501	△594	6,906

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業などを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△594百万円には、セグメント間取引消去180百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△774百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	28,313	9,673	23,480	61,466	1,267	62,733	—	62,733
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	548	192	21	763	46	810	△810	—
計	28,862	9,865	23,501	62,229	1,313	63,543	△810	62,733
セグメント利益又は 損失 (△)	5,087	189	2,312	7,589	23	7,613	△475	7,137

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業などを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△475百万円には、セグメント間取引消去270百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△746百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 四半期毎の業績の推移 (連結)

2025年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期 2024年4月～6月	第2四半期 2024年7月～9月	第3四半期 2024年10月～12月	第4四半期 2025年1月～3月	通算 2024年4月～2025年3月
売上高	30,344	32,388			62,733
売上総利益	10,475	10,555			21,030
営業利益	3,654	3,482			7,137
経常利益	4,909	3,997			8,907
税金等調整前当期純利益	4,944	4,027			8,972
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,024	2,869			5,894
総資産	266,910	265,566			—
純資産	223,068	225,074			—

2024年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期 2023年4月～6月	第2四半期 2023年7月～9月	第3四半期 2023年10月～12月	第4四半期 2024年1月～3月	通算 2023年4月～2024年3月
売上高	28,622	29,889	32,528	34,044	125,085
売上総利益	9,672	10,458	11,362	11,200	42,693
営業利益	3,179	3,727	4,401	3,949	15,258
経常利益	4,274	4,952	5,469	5,249	19,945
税金等調整前当期純利益	4,285	4,764	5,612	6,272	20,935
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,698	3,131	3,445	3,919	13,194
総資産	239,330	251,270	255,717	269,819	—
純資産	200,200	208,438	211,704	219,885	—

2023年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期 2022年4月～6月	第2四半期 2022年7月～9月	第3四半期 2022年10月～12月	第4四半期 2023年1月～3月	通算 2022年4月～2023年3月
売上高	27,255	28,647	31,201	32,073	119,177
売上総利益	9,171	9,328	10,002	10,459	38,962
営業利益	2,856	3,051	3,252	3,507	12,668
経常利益	4,156	4,186	3,797	4,484	16,625
税金等調整前当期純利益	4,266	4,357	4,058	3,945	16,628
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,493	2,720	2,683	2,075	9,973
総資産	226,524	234,057	236,384	236,534	—
純資産	189,032	195,817	197,294	196,392	—

## (2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益又は損失 (△)			
		前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	増減額	増減率	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	増減額	増減率
薬品 事業	日本	15,957	15,893	△ 64	△0.4%	2,252	2,553	300	13.3%
	アジア	11,036	11,848	812	7.4%	1,834	2,070	235	12.9%
	欧米	538	571	32	6.1%	123	147	24	19.9%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	607	548	△ 58	△9.7%	375	315	△ 59	△15.9%
	計	28,140	28,862	721	2.6%	4,586	5,087	501	10.9%
装置 事業	日本	2,992	6,777	3,785	126.5%	45	65	20	45.0%
	アジア	2,978	2,379	△ 599	△20.1%	△ 215	41	256	119.3%
	欧米	522	516	△ 5	△1.1%	72	34	△ 37	△51.7%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	208	192	△ 15	△7.4%	54	47	△ 7	△13.3%
	計	6,700	9,865	3,164	47.2%	△ 43	189	232	539.6%
加工 事業	日本	12,816	12,186	△ 629	△4.9%	2,030	1,423	△ 607	△29.9%
	アジア	6,047	6,108	60	1.0%	649	657	7	1.2%
	欧米	4,191	5,185	993	23.7%	132	123	△ 8	△6.3%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	28	21	△ 7	△24.9%	124	107	△ 16	△13.5%
	計	23,084	23,501	417	1.8%	2,936	2,312	△ 624	△21.3%
報告セグメント計		57,926	62,229	4,303	7.4%	7,480	7,589	109	1.5%
その 他	日本	1,431	1,267	△ 163	△11.5%	21	23	2	11.5%
	アジア	—	—	—	—	—	—	—	—
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	5	46	41	803.7%	0	0	—	—%
	計	1,436	1,313	△ 122	△8.5%	21	23	2	11.4%
合計		59,362	63,543	4,181	7.0%	7,501	7,613	111	1.5%
調整額		△ 849	△ 810	39	4.7%	△ 594	△ 475	118	20.0%
連結損益計算書計上額		58,512	62,733	4,221	7.2%	6,906	7,137	230	3.3%

## 所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益				
	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	増減額	増減率	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	増減額	増減率	
日本	35,048	38,001	2,953	8.4%	4,396	4,206	△ 189	△4.3%	
アジア	20,163	20,979	816	4.0%	2,269	2,760	491	21.7%	
欧米	5,257	6,291	1,034	19.7%	337	306	△ 30	△9.1%	
合計	60,468	65,273	4,804	7.9%	7,002	7,273	271	3.9%	
調整額	△ 1,956	△ 2,539	△ 583	△29.8%	△ 95	△ 136	△ 40	△42.9%	
連結損益計算書計上額		58,512	62,733	4,221	7.2%	6,906	7,137	230	3.3%